2023 Smart Nature City®

令和5年度（2023）地域連携センター自主事業

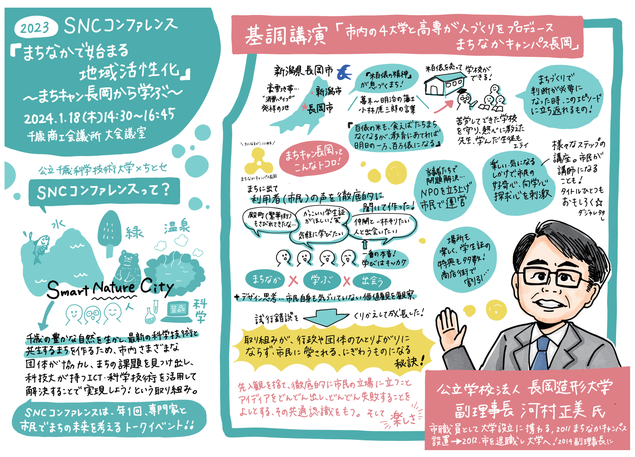
SNC（スマートネイチャーシティ）ちとせ構想とその活動を市民へ可視化することを目的として、地域連携センターでは様々な取り組みを行っています。2023年度はこれまでも実施してきた「SNCコンファレンス」、「タウントーク」、「オープンサイエンスパーク」に加え、市内３高等教育機関合同で教育に関する展示を行う「サイエンスカフェ」やSTEAM教育と地域連携を目指す「サイエンス×アート事業」等を実施しました。

SNCコンファレンス

「まちなかで始まる地域活性化～まちキャン長岡から学ぶ」と題し、新潟県長岡市にある「まちなかキャンパス長岡」を参考に人・モノ・情報が集まる中心市街地における学びと交流の拠点作りについて議論しました。基調講演では公立大学法人長岡造形大学副理事長 河村正美氏からまちなかキャンパス設立までの道のりや、街づくりのヒントとなる話題を提供していただきました。







基調講演のグラフィックレコーディング

タウントーク（会場の様子）

市民が知りたい話題を幅広く取り上げ、ゲストスピーカーとの対話を通じて広く情報提供を行うことを目的に、まちライブラリー@ちとせからオンライン配信しています。会場で参加することも可能で、毎回多くの方にご覧いただいています。今年度は5回開催しました。



サイエンスカフェ

千歳市内3高等教育機関（北海道千歳リハビリテーション大学、日本航空大学校北海道、本学）合同で開催した教育・研究展示会。2023年9月と2024年2月の2回開催され、教員同士の親睦を深めるほか、市民にむけて各機関の特色ある取り組みをPRしました。





オープンサイエンスパーク

地域の様々な課題を企業や市民を交えて議論するサイエンスコミュニケーションの場として2017年から開催しています。今年度は北大博物館との共同開催特別シリーズ「地域学：歴史に学び風土が拓く、持続可能な未来」を3回、番外編「ミクロな世界への冒険」の合計4回開催しました。



ミクロな世界への冒険電子顕微鏡を操作する参加者

サイエンス×アート事業

「STEAM教育」と「地域連携」の実践を目指す実験的な取り組みとして、電子顕微鏡で撮影した画像を用いてアート作品を制作しました。市内アーティストの指導のもと、本学学生が骨組みを制作し、市内小中学生が電子顕微鏡画像を用いて制作したアート作品を貼付けて完成した3mのモニュメントは、10月15日に開催された稜輝祭のシンボルとして展示され、現在も学内に展示中。



●●･ もっと詳しく知る！ ･●●

QRコードを読み込むとより
詳細な情報にアクセスできます

QR1 学生が制作したモニュメント

QR2 タウントークページ

QR3 サイエンスカフェ